

12/4 岡沢クリニックの
岡澤院長が「お伊ネ賞」受賞

岡沢クリニック（愛南町御荘平城）の岡澤朋子院長が、医学研究や医療活動に活躍する女性を表彰する愛媛県西予市の第5回「お伊ネ賞」で、愛媛県医師会が推す地域奨励賞（県女性医師部門）に輝きました。

お伊ネ賞は、シーボルトの娘で西予市宇和町卯之町で医学を志した日本初の産科女医、楠本伊ネ（1827～1903年）を顕彰して、女性医師らの活躍推進を図ろうと同市が2012年から続けています。岡沢院長は「お伊ネさんのように目の前にいる一人ひとりを私に与えられた大切にするべき存在であると信じて、小さな歩みを笑顔で続けていきたいです」と喜びを語りました。



12/11 愛媛駅伝 64 チームが町内駆け抜ける

第67回愛媛駅伝競走一本松—宇和島大会（愛媛陸上競技協会、愛媛新聞社主催）が開催され、愛南町と宇和島市を結ぶ7区間、52.7kmのコースを64チームが駆け抜けました。

選手は、午前10時に一本松を一斉にスタート。晴天の下、懸命にたすきをつなぎました。

町内では一部に出場した南宇和高校が3時間8分13秒で18位、2部に出場した愛南体協が3時間18分7秒で11位（高校を除く総合30位）となり、1月29日に今治市—松山市間（7区間、46.1km）で開催される第13回駅伝選手権大会への出場を決めました。



あんなことや、
こんなこと—TOWNコミュ

本日!海日和!! vol.75

「ニコニコ笑顔」



テンクロスジギンポ

2月5日は、ニコニコで「笑顔の日」らしい。笑う生き物は人間だけだと言われているが、海の中には、いつも笑っているように見える魚がいる。

テンクロスジギンポがその一つである。口角が上がっているためか、不思議と笑っているように見える。10cmくらいの細長い体をしていて、サンゴに空いた穴の中に住んでいる。顔を出したり引っ込めたりしながら周囲の様子をうかがっているさまは、まるでモグラたたきのようなものである。

安全を確認すると穴から出てきて食事をするが、その方法が変わっている。他の魚に近づいて、ヒレやウロコをかじりとってしまうのだ。そのために、このような口の形に進化したのだろう。そう思うと、不敵な笑いにも見えてしまう。

なにはともあれ、眉間にしわを寄せていることの多い私としては、テンクロスジギンポを見習い、いつも笑顔で過ごしたいものである。

(撮影地：鹿島)

愛南サンゴを守る会 西尾知照 ともてる

12/14 インドネシアからの技能実習生 18名が決意表明

本町で漁船漁業に関する知識や技術を習得し、母国の産業発展に役立てようと、インドネシアから18名の技能実習生が来町しました。旧中浦小学校で行われた開講式では、一人ひとりが抱負を述べ、研修への決意を表明しました。実習生は、2月末まで日本語や漁船漁業に関する基礎知識を学習した後、3月からは受け入れ先となる各水産業者に別れて海洋実習を行います。地域で行われる行事にも参加するなど、地域住民の方との交流も行う予定です。



12/19 地域ぐるみで防災意識を高めよう

御荘中学校と南宇和高校生徒会、栄町地区が協力して御荘地区学校地域合同防災訓練が行われました。これは、地域全体の防災・減災意識を高めようと御荘中学校と南宇和高校の生徒会が企画したもので、栄町地区に呼びかけて今回、初めて実施されました。参加者は、告知端末機から「大地震発生」の一報が伝えられると、最寄りの津波一時避難場所に避難を開始、その後、避難所に指定されている南宇和高校に移動して、非常食器作りや試食、災害伝言ダイヤルを実体験するなど防災学習を行いました。



防災教育で学んだ紙食器の作り方を住民に教える御荘中の生徒

御荘中1年の高橋真衣^{まゐ}さんは「一次避難場所になっている日土峠への道は、普段通らない道なので、今日の訓練で経験できてよかった」と話しました。

12/21 ロケットについて学んだよ

宇宙航空研究開発機構（JAXA）の職員や大学教授などが講師を務める「宇宙一日出前講座」が城辺小学校であり、児童が宇宙やロケット技術について学びました。これは2017年6月に松山で開かれる「宇宙技術および科学の国際シンポジウム」の実行委員会が、宇宙の魅力を知ってもらおうと企画したもので、城辺小学校では、東京大学大学院の小紫公也^{きみや}教授が「ロケット技術の現状と未来のロケットについて」講演しました。



講演では、ロケット推進の原理や光の力で進む最新の電磁ビームロケットが紹介され、子どもたちは真剣なまなざしで聞いていました。風藤壮智^{まさのり}くんは「先生が一生を懸けてがんばっている姿にとっても感動しました。ロケットには新しい発想があるのですすごいと思いました」と目を輝かせました。

12/26 クリスマスに新鮮なお魚をプレゼント

特別養護老人ホーム自在園に愛南漁協から新鮮な魚が届けられました。これは愛南漁協魚類養殖部会がお年寄りらに美味しい地元の魚を味わってもらおうと、クリスマスに合わせて毎年行っているもので、この日は鯛11尾とブリ2尾が漁協職員から自在園



の入所者へ手渡されました。入所者を代表してブリを受け取った入江緑^{みどり}さんは「毎年、新鮮なお魚をいただいてありがたい。刺身にしていただけるということで楽しみにしています」と笑顔。魚類養殖部会では、この日町内の福祉施設など7施設へ鯛57尾、ブリ9尾を届けました。